

この4月と10月の2回、水産物買いつけのため広州の見本市に行つて参りました。今回いつてみて、4月と全く様相が変つていたのは紅衛兵の行動でした。汽車の中で先ず盛んに宣伝をやつていました。紅衛兵による文化大革命の話ばかりで、一握りの反動分子(米共主義とソ連の修正主義)を排除するのだと、色々な表現を用いて我々に叩きこんでいました。ホテルでも然りで、通訳までが立派な工作員でした。彼等に質問してみました。「文化大革命は何時からか」「5月に北京大学で7名の学生が学長の弾劾運動を起し、それを毛主席が応援し強力に推進したのが始まりである」「紅衛兵は何人位いるのか」「紅衛兵とは一部のリーダーであつて、他の青少年は全部参加させられている」紅衛兵運動はデモのようなるさいものでなく、彼等はプラカードを持つて静かに街を歩いていました。そして初等中学以上は2カ月も学校を休み、挙げて文化大革命の行事に参加しており、学生の大交換もやつていました。

ホテルでは隔日位に催しがありました。出席は強要されたようなものです。迎へのバスには紅衛兵が乗つていて「毛沢東語彙」の朗読をやる。中の青年達が唱和する。次に日本語でやる。それから歌う。歌は三つしかなく、それ以外は歌うことを許されません。先生万もどうぞと歌われる。会場に着くと誰彼なしに「毛沢東語彙」を読んでいる。やがて毛沢東の写真が写されると会場は「万才、万才」です。卓球選手が入場する。選手は皆「毛沢東語彙」を持つている。試合中のコートチェンジの際にも「毛沢東語彙」が読まれます。映画の場合も同じで、毛沢東の演説を聞きに行つたようなものでした。兎に角彼等には毛沢東以外に考える余地が無いのです。それは日本に於ける「ビートルズ旋風」どころではありません。そんな熱狂ぶりを見ていて恐ろしくなりました。

彼等が言うように「たつた一握りの反動分子」のために、何千万という学生を動員するよなことまで何故やらなければならなかつたかとの疑問は残ります。これから先どうなることか、一大見物だと思ひました。そして毛沢東は確かに立派な元首として尊敬に値するが、毛沢東が偶像以上に素晴らしいだけにその後の周恩来などの力で果してこれからうまくゆくでしょうか。又このよなことをやつて生産に悪影響を与えたことも否定されません。

紅衛兵一人一人に会つてみると何れも可愛い子供でした。それが団体になると、好むと好まざるとに拘らず立派に統制されます。恐ろしいことです。

広州に20日間程いた私はこれで完全に頭にきました。日本の羽田空港に着いてしみじみ感じたのは「日本程結構な国はない」ということでした。

○ 終つて活発な質疑があり、その中で中国に対して往年の函館のような海産物輸出を期待するのは無理であろうとのお話が注目されました。



第127回例会

本日のプログラム

「クリスマス家族会」

- ◆ 司会 飯田会長 ◆ 斉唱 手に手つないで
 ◆ ゲスト 田中誠一郎氏(函館商工会議所副会頭)
 ◆ ビジター 小林栄一君(埼玉県狭山 茶販売)
 村上富敏君(網走 ミンク飼育)
 外山健吉他5名(函館) 山中一君他11名(函館東)

◆ 幹事報告

1. 例会終了後、理事会並びにクリスマス家族会の準備委員会を行ないます。
2. 18日午後1時よりラ・サール高校にてインターアクト・クラブの発会式があります。会長、副会長、幹事、社会奉仕委員長、インターアクトの委員長さんの御出席をお願いします。
3. 来週は他クラブもクリスマス家族会等で、例会場や例会時間の変更等があります。メーク・アップされる方はくれぐれも御注意下さい。
4. クリスマス家族会の案内状を本日発送しました。至急御返事願います。

◆ 卓話 "日本人の責任" 田中誠一郎氏

私は戦後混迷した日本がこれまでに復興した姿を外から眺めたいと考え、6年前にアラスカ、ノルウェー、コペンハーゲン、モスクワ、東西ドイツ、イギリス、ベルギー、フランス、ローマ、エジプト、バンコック等を廻つてみました。その時の感じでは、日本はイタリアよりやや良い程度でした。又去年はソベリア、東南アジアに行つて来ました。そして今回は是非中国の状態を見たいと思ひ、森岡さんのあと、10月27日に広州の交易会に行つたわけですが、主にホンコン、マカオ、バンコックに行つたのですが、結局は森岡さんの言われたように「日本程結構な国はない」ということになりました。

台湾は非常に安定して、大分日本に近付いたようでした。台湾は勿論東南アジアでは、日本語だけで充分間に合ひ、日本に対する強い親近感がありました。東南アジアは然し貧乏です。都会はますますとしても、一歩郊外に出ると裸足の人を多く見受けます。食糧も非常に不足しています。日本軍人がかつて戦争をしましたが、その時にも東南アジアを救うのは俺達であるとの気概を

持っていました。又先般ジョンソン大統領が 20 世紀後半は太平洋とアジアの時代になつたと述べました。更にライシヤワ大使が帰米した時、日本はやがて世界才二位になるだろうと言つてあります。とに角最近では日本人の値打ちが上がつて来ました。それだけ我々日本人の責任が重くなつたと思います。シベリアは面積が日本の約30倍、人口は僅か500万人です。私は以前に、シベリアは日本人によらなければ開発は出来ないだろうとの意見を述べましたが、漸くその発言に対し反響がみられるようになりました。

何故これまでに日本が経済的に伸びたのか、私なりに考えてみました。

1. 才一の理由は祖先が同一であつてまとまつた日本民族をつくつたことです。而も同一言語で、教育が徹底して頭が良くなり、勤勉努力する偉大な民族です。ソ連や中国は多くの種族が混じつたもので、言語もバラバラです。
2. 次に日本は四面皆海で良い港湾が多かつたことにあると思います。原料や製品の輸送が、船を利用するため極めて割安になります。アメリカ等大陸ではそれは望めません。例の出光丸の輸送など驚嘆すべきものです。

池田総理の所得倍増論以来、日本経済は飛躍的に伸び、造船は世界の5割以上を占め、製鉄や自動車は世界才三位になりました。日本人は政治には弱い、経済人の良識は世界に立派に太刀打ち出来るものと信じております。

先般日本共産党の大幹部が中国に引き揚げましたが、現地の貧困さに嫌になつて戻つて来たそうです。紅衛兵は気狂い沙汰です。中国では10才から50才まで鉄砲の訓練を受けています。迫撃砲を担いでいるのは女です。私はあの姿をみて、日本の竹槍訓練を思い出して胸うたれました。又私が訪問したある家庭では、歓待はしてくれたのですが、出されたのは井の水だけでした。そして良い家庭なのですがやはり裸足でした。中国の95%は貧乏なのです。

むこうで買物をしましたが目ぼしいものはmade in Japanでした。而も非常に高いのです。日本の主婦達は物価が高いと嘆く勿れと思ひました。

日本人こそアジアの盟主であり、指導者になる責任があると感じました。我々は高い次元から、ヒューマニズムをもつてアジア大陸を救うべきでしょう。

出席報告

1. 本日の状況 会員数 29名 出席 21名 欠席 8名
2. 先週の確定出席率 75.86% (29名中22名出席)
 メーク・アップ 青柳君 神原君 杉本君 戸栗君
 欠席者 飯田会長 北村君 西村君 塚田君
 高田君 高杉君 山形君
3. 他クラブの状況 函館 92.45% 函館東 96.10%

次回(28日)のプログラム 卓話 "函館繁昌記" 函ク 若山会員



通算才144号
1966~1967-12-21
函館北ロータリークラブ

第128回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
17.00~20.45

本日のプログラム

卓話 函館繁昌記、 函館RC 若山会員

- 司会 飯田会長 斉唱 奉仕の理想
- ゲスト、ピツター 共になし
- 新入会員紹介
- 幹事報告

1. 新入会員の平野さんの職業分類は、大分類「事務用品」、小分類「事務用品販売」です。当クラブの分類にないので追加します。
2. 先日のラ・サール高校のインターアクト・クラブ発会式に、会長、副会長、社会奉仕委員、私の4人が出席しました。1月中に認証状が来る予定で、授与式が行なわれます。

新入会員御紹介

- 平野 義勝 君 Yoshikatu Hirano
- △ 生年月日 大正12年11月3日
 - △ 自宅及び電話 函館市乃木町67番地(51)8426
 - △ 勤務先住所 函館市万代町179番地(52)3176
 - △ 勤務先及び地位 スエヒロ事務機株式会社 代表取締役
 - △ 経歴 昭和16年・庁立函館商業学校卒業
 KK富岡鉄工所取締役・KK道南鉄工取締役
 富士万食品KK監査役
 - △ 職業分類 (大分類)事務用品 (小分類)事務用品販売
 - △ 御家族 奥さん恭子さん、長女文子さん、次女みどりさん
 - △ 趣味 山登り、旅行 ゴルフ
 - △ 結婚記念日 昭和28年10月10日
 - △ 推選者 成田副会長